

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	gleam		
○保護者評価実施期間	2026年1月5日		~ 2026年1月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 27	(回答者数)	22
○従業員評価実施期間	2026年1月19日		~ 2026年2月10日
○従業員評価有効回答数	(対象者数) 19	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	北本市のイベント(&green market)(みどりまつり)に参加したり、事業所で毎月発行している通信紙を関係機関等に配り、挨拶を行っている。	イベントへの出店はほぼ毎回行っており、地域交流の場を意識的に設けている。	イベントでの出店時は、作品づくりが出来る体験バスを設置することで、地域の方、来場者の方と直接触れ合う機会を作っている。通信紙を配ること、事業所のこどもたちの取り組みについて知ってもらいたい。
2	火田の活動ができる。	季節ごとに種や苗を植えこ、なるべく多くの作業ができるよう計画を立てている。	収穫した作物をご家庭に持ち帰り食べてもらったり、調理して実際に食べてもらうなど食育の一環として活動に取り入れている。
3	休校日や長期休みには外出活動を行い、異年齢交流も行っている。	滞在時間が長い日のお預かり時は、県内外の様々な場所へ外出している。異年齢児童が一斉に活動できる内容にしている。	公園や科学館、博物館、児童館など、放課後の利用では行けない場所に行ったり、活動内容が固定化されないよう工夫している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員による支援にバラつきを感じることがあり、共通理解を全員が持つことが難しい。	職員の在籍人数が多く、また年齢層も幅広いため、支援に関する共通理解が得られにくい。	支援会議を行ってはいるものの、全ての職員が参加できるわけではないので会議の内容を共有し理解した上で支援に臨む必要がある。
2	職員間での情報共有、伝達のミスがある。	日による職員のメンバーは異なり、勤務日数や日曜日、時間帯もバラつきがあるため引き継ぎにミスがあったり知らないことがある。	情報共有アプリを活用しているが、会議を細分化することで、児童の支援のことや虐待防止、感染症予防など1つのテーマに沿って話し合いや
3	保護者様からの要求が強い、要望が多すぎることもある。	事業の性質について理解してもらうことが難しい。	共通理解を深めようと取り組みを行っている。 できることは対応したいと考えているが、カスタマー・イラスト材策を講じていく必要を感じている。